

成果の説明書

(氏名) 中村 彰良	(学部) 経済学部
1 重要事項	
研究 昨年度にデータを使った分析を行ったが、アンケートのデータを使うことにしたためデータ数を十分確保することが難しかった。アンケートを実施してくれるサービス等も存在するようであるが、データの信頼性やコストの面で問題があるものと思われる。そこで、ネット上に存在するテキストデータを分析するような研究に興味を持つようになった。テキストデータを効率よく収集するためには、スクレイピングというような手法を習得する必要がある、関連する書籍をいくつか読んで習得するよう試みた。ただ具体的にデータを収集することはまだしていない。	
教育 昨年度の成果の説明書で触れたように、簿記検定の範囲が見直されたことによって、それに合わない部分が見られるようになった教科書『基礎簿記』について、割と大きめの改訂作業を行った。そして改訂版の『基礎簿記』が2021年3月に創成社から発行された。 授業については、多くの科目が遠隔授業だった。遠隔授業はテキストベースで行ったため、各回のテキスト作成に時間を費やした。また、各回の課題作成や提出された課題へのコメントを書くのにも時間を費やした。 また、テストも遠隔で行ったため、通常よりも問題量を増やしたりした。ファイルで提出された答案を採点するには、通常の紙の答案を採点するよりもだいぶ時間を費やすことになった。 また、4年生の提出したゼミ論文に目を通した。	
2 その他の事項 高崎経済大学経済学会監事として監査を行った。	
3 次年度以降の計画・抱負 研究面では、ネット上のテキストデータを収集してみると、そのデータを使った分析を行いたい。 教育面では、簿記検定について昨年さらに範囲の見直しが行われたようなので、それについての対処を検討したい。	